



あいかわ 議会だより

第 163 号

令和元年11月15日発行

責任者 議会議長 馬場 司
年4回発行・本号20ページ



10月20日に
議場見学会を
実施しました!

詳しくは20ページをご覧ください



新しいスタート! 議会新体制が決定

P2・3

「愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定」など
4件の条例を可決

P4

平成30年度各会計決算を認定

P6

※町議会では議会だよりに使用する写真を募集しています。詳しくは議会事務局へお問い合わせください。



QRコード

愛川町議会のHPも
是非ごらんください。

〈第3回9月定例会・第1回10月臨時会〉

○発行/愛川町議会 編集/広報広聴常任委員会 〒243-0392 神奈川県愛甲郡愛川町角田251-1 ☎046-285-6927(直通) 046-285-2111(代表)

議会メールアドレス gikai@town.aikawa.kanagawa.jp 町HPアドレス <http://www.town.aikawa.kanagawa.jp/>

人事決定

※議席番号順



井上 博明 副議長



馬場 司 議長

10月16日に、令和元年第1回愛川町議会臨時会が開かれました。
この臨時会では、正副議長をはじめ、議会選出監査委員、議会運営
委員会委員及び各常任委員会委員の選任などを行いました。

第1回
臨時会

議長に馬場
副議長に井上
博明氏
司氏



鈴木 信一
2期目
共産党



阿部 隆之
2期目
あいかわの聲



茅 孝之
1期目
あいかわの聲



岸上 敦子
2期目
公明党



渡辺 基
4期目
あいかわの聲



井出 一己
4期目
公明党



小林 敬子
5期目
共産党



佐藤 茂
4期目
無所属

◎委員長 ○副委員長

令和元年10月21日時点

議会運営委員会 (委員定数 8人以内)	
◎木下 眞樹子	○鈴木 信一
阿部 隆之	佐藤 りえ
玉利 優	熊坂 崇徳
渡辺 基	井出 一己

会派構成 (◎は代表者)	
あいかわの こえ 声	◎渡辺 基 馬場 司 山中 正樹 木下 眞樹子 熊坂 崇徳 玉利 優 阿部 隆之 茅 孝之
公明党	◎佐藤 りえ 井出 一己 岸上 敦子
日本共産党 愛川町議員団	◎井上 博明 小林 敬子 鈴木 信一
無所属	小島 総一郎 佐藤 茂

監査委員は、識見を有する者と議会議員で構成しており、議会選出の監査委員に山中正樹議員を選任することに同意を求



山中 正樹 監査委員

監査委員

議会役職

その他人事関係

◎厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙

申し合わせの任期満了に伴い、厚木愛甲環境施設組合議会議員の選挙が行われ、馬場司議長、岸上敦子議員、阿部隆之議員、小林敬子議員の4人が、選出されました。

める議案が提出され、賛成全員で同意しました。



木下眞樹子
3期目
あいかわの聲



熊坂 崇徳
3期目
あいかわの聲



玉利 優
2期目
あいかわの聲



佐藤 りえ
3期目
公明党



井上 博明
10期目
共産党



小島総一郎
7期目
無所属



馬場 司
5期目
あいかわの聲



山中 正樹
5期目
あいかわの聲

ぜひ傍聴にお越しください！

広報広聴常任委員会 (委員定数 10人)	
◎阿 部 隆 之	○小 林 敬 子
岸 上 敦 子	茅 孝 之
佐 藤 り え	玉 利 優
熊 坂 崇 徳	木 下 眞樹子
山 中 正 樹	井 上 博 明

教育民生常任委員会 (委員定数 8人)	
◎熊 坂 崇 徳	○岸 上 敦 子
茅 孝 之	佐 藤 茂
小 林 敬 子	渡 辺 基
山 中 正 樹	井 上 博 明

総務建設常任委員会 (委員定数 8人)	
◎佐 藤 り え	○玉 利 優
阿 部 隆 之	鈴 木 信 一
木 下 眞樹子	井 出 一 己
馬 場 司	小 島 総一郎

2019
G I K A I

令和元年第3回愛川町議会「9月定例会」が、8月30日から9月20日まで、会期22日間（本会議開催日6日間）にわたり開催され、平成30年度各会計の決算の認定をはじめ、固定資産評価審査委員会委員の選任や教育委員会委員の任命、条例、補正予算など、14件の町長提出議案について審議し、全議案を可決するとともに、1件の陳情を審議しました。

本号では、これら「9月定例会」の内容を中心にお知らせします。



令和元年第3回9月定例会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
8	30	金	本会議	陳情1件の所管常任委員会への付託、固定資産評価審査委員会委員の選任及び、教育委員会委員の任命の採決、町長提出議案の説明、議会改革推進特別委員会の調査報告
9	2	月	本会議	一般質問（6人）
	3	火	本会議	一般質問（5人）
	5	木	本会議	補正予算議案の総括質疑・討論・採決
	9	月	本会議	条例議案及び平成30年度決算議案の会派代表総括質疑、委員会分割付託の決定
	11	水	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	12	木	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	13	金	総務建設常任委員会	付託案件の審査
	17	火	教育民生常任委員会	付託案件の審査
	20	金	本会議	付託案件の審査結果の委員長報告・質疑・討論・採決、町長提出議案の説明・質疑・討論・採決

令和元年第1回愛川町議会臨時会日程

月	日	曜	会議名	主な内容
10	16	水	本会議	議長・副議長の選挙、議会運営委員会委員の選任、各常任委員会委員の選任、監査委員の選任

人事議案

◎固定資産評価審査委員会委員の選任

（賛成全員）

任期満了に伴い、引き続き次の方を選任することについて同意したものです。

中津在住

大野 晋氏

◎教育委員会委員の任命

（賛成全員）

任期満了に伴い、引き続き次の方を任命することについて同意したものです。

中津在住

梅澤 秋久氏

条例議案

◎愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定

（賛成全員）

将来にわたり安定的に下水道サービスを提供していくため、本町の下水道事業に地方公営企業法に基づき、発生主義・複式簿記を採用した公営企業会計方式を導入することから、公営企業の設置等に関し、必要な事項を定める新条例を制定したものです。

【施行期日 令和2年4月1日】

◎愛川町税条例等の一部改正

（賛成全員）

「地方税法」の一部改正により、軽自動車税の環境性能割の税率を臨時的に軽減する措置が講じられたほか、軽自動車税の種別割の税率を軽減するグリーン化特例の見直しが行われたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日 公布の日】

◎愛川町印鑑条例の一部改正

（賛成全員）

旧氏を使用した印鑑の登録を可能とする必要が生じたことから、所要の改正を行う一部改正条例を可決したものです。

【施行期日 令和元年11月5日】

◎愛川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び愛川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部改正

（賛成全員）

「住民基本台帳法施行令」の一部改正により、住民票や個人番号カード等に本人からの請求により旧氏を併記する措置が講じられたことに伴い、

予算議案

◎令和元年度一般会計補正予算（第2号）（第3号）

（賛成全員）

歳入歳出予算の総額に1億461万7千円を増額し、一般会計の総額を126億1,458万1千円とするものです。

主な内容は、特殊詐欺などの防止に効果的である自動通話録音機能付電



町道中津2969号線の舗装を打ち換え

話機等購入費助成金の増額、経年により傷みが著しい町道中津2969号線の舗装打換工事、愛川中学校特別教室棟の屋上防水シート改修工事、愛川聖苑第一式場の空調機改修工事などです。

令和元年 第3回（9月）定例会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町 長 提 出 第 4 2 号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	同 意
町 長 提 出 第 4 3 号	教育委員会委員の任命について	同 意
町 長 提 出 第 4 4 号	愛川町公共下水道事業の設置等に関する条例の制定について	可 決
町 長 提 出 第 4 5 号	愛川町税条例等の一部を改正する条例の制定について	可 決
町 長 提 出 第 4 6 号	愛川町印鑑条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町 長 提 出 第 4 7 号	愛川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例及び愛川町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可 決
町 長 提 出 第 4 8 号	平成30年度愛川町一般会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町 長 提 出 第 4 9 号	平成30年度愛川町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町 長 提 出 第 5 1 号	平成30年度愛川町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町 長 提 出 第 5 2 号	平成30年度愛川町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
町 長 提 出 第 5 3 号	平成30年度愛川町水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
町 長 提 出 第 5 4 号	令和元年度愛川町一般会計補正予算（第2号）	可 決
町 長 提 出 第 5 5 号	令和元年度愛川町一般会計補正予算（第3号）	可 決

●意見が分かれた議案等

○…賛成、●…反対 ※令和元年9月20日時点の会派構成となっています。

議案番号	議員名 議案の件名	愛政クラブ			公明党			日本共産党 愛川町議員団			みらい絆		新風あいかわ			議決結果		
		馬場 司	小倉 英嗣	山中 正樹	佐藤 りえ	井出 一己	岸上 敦子	井上 博明	小林 敬子	鈴木 信一	熊坂 崇徳	小島 総一郎	木下 眞樹子	渡辺 基	熊坂 弘久		阿部 隆之	佐藤 茂
町 長 提 出 第 5 0 号	平成30年度愛川町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	議長は採決に加わりません	○	○	○	○	○	可 決
陳 第 6 情 号	日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	●	●	●	●	●	●	●	●	●	○		○	●	●	●	○	不採択

令和元年 第1回（10月）臨時会 議決一覧表

●全会一致の議案

議案番号	案 件	議決結果
町 長 提 出 第 5 6 号	監査委員の選任について	同 意

平成30年度決算を認定

平成30年度 各会計決算額

会計名		歳入	歳出
一般会計		130億9,818万円	125億1,339万3千円
特別会計	国民健康保険	51億5,413万9千円	51億4,640万9千円
	後期高齢者医療	4億6,057万円	4億3,802万1千円
	介護保険	29億2,871万3千円	28億4,753万7千円
	下水道事業	13億1,759万円	12億8,827万6千円
企業会計	水道事業	6億6,565万6千円	8億3,628万6千円
合計		236億2,484万8千円	230億6,992万2千円

- ◎ 一般会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定
(以上賛成全員)
- ◎ 後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定
(賛成12人、反対3人)
- ◎ 介護保険特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定
- ◎ 水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定
(以上賛成全員)



QRコード

決算の詳細については、スマートフォンからでもご覧になれますので、左QRコードをご利用ください。(※広報あいかわのページに移動します)

件名	陳情者	付託先	審査結果
日本政府に対して、国連の「沖縄県民は先住民族」勧告の撤回を求める意見書の採択を求める陳情書	埼玉県川越市仙波町2丁目17-34 一般社団法人 日本沖縄政策研究フォーラム 理事長 仲村 寛	教育民生 常任委員会	不採択
米軍普天間飛行場の辺野古移設を促進する意見書に関する陳情	沖縄県宜野湾市真栄原2丁目15番10号 宜野湾市民の安全な生活を守る会 会長 平安座 唯雄	—	机上配付
消費増税に反対し、景気浮揚を求める意見書の採択についての陳情	横須賀市汐見台3-20-15 自主・民主・平和のための広範な国民連合・ 神奈川 原田 章弘	—	机上配付

陳情のゆくえ

お知らせ

議会中継

町民参加を基本とする開かれた議会を実現するため、インターネットによる議会本会議のライブ中継、録画中継を行っていますので、是非ご覧ください。視聴にあたっては、「愛川町議会ホームページ」内の「愛川町議会インターネット中継」の項目をクリックして進んでください。(スマートフォン不可)

なお、録画中継は、ライブ中継終了後、概ね1週間後からご覧になれます。

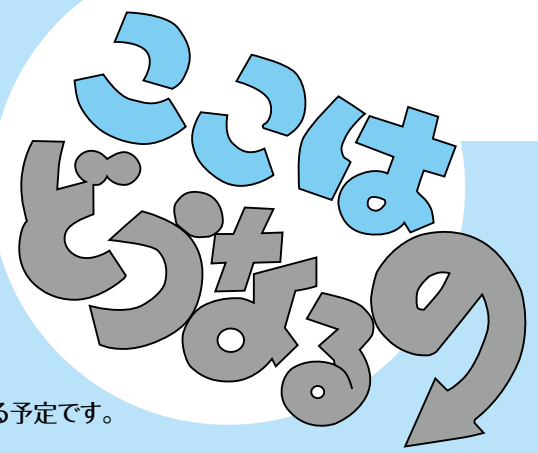
愛川町議会

検索



一般質問

紙面の都合により、発言の一部を掲載しています。詳しくは役場等に備え付けてある「会議録」をご覧ください。なお、9月定例会の会議録は、12月中には備え付けができる予定です。



町長 このサミットは、広域的な共通課題の解決に向け、相互連携や情報交換を行い、広域行政の円滑な推進を図ることを目的に、平成22年度に設立をした広域組織です。水害に対する意識啓発など、5項目について、構成市町村の現状を踏まえながら検討を進めているところです。

広域的な課題解決 水害対策など検討

問 県央相模川サミットについて、本町における令和元年度の取り組みと今後の展望を伺います。

「県央相模川サミット」 今年度の取り組み これからの展望



熊坂 弘久 議員

町長 本線は交通量も多く、歩行者を巻き込む交通事故等が懸念されます。坂本坂入口から桜台交差点までの歩道の未整備区間は、これまでに引き続き、県の町村会などを通じて要望を行っています。多くの課題がありますが、県に任せ切りではなく、協力していきたいと考えています。

交通事故等が懸念 県に対し要望・協力

問 県道63号相模原大磯線の桜台交差点から坂本坂入口までの区間は、交通量も多く歩道も狭いため、歩行者等の安全面が心配されます。そこで、この区間における歩道整備の今後の見通しについて伺います。

63号相模原大磯線 歩道整備の見通し

町長 大学の持つ専門的な知識や若い世代の視点での意見は、これからのまちづくりにおいて大変重要と認識しています。地域づくりの新たな担い手として、大学との連携を図るなど、関係人口の創出に努めていきたいと考えています。

大学と連携図る 若い世代の視点重要

問 地域づくりの担い手となる関係人口を増大させ、次の愛川町を創るため、大学の学部やゼミ、研究室などを誘致する考えについて伺います。

関係人口増大と 学部・ゼミ誘致



阿部 隆之 議員

整備費用等の精査 町の方針を見出す

問 観光と産業の振興により交流人口が増大した場合、町外を含めた様々な民間業者が周辺地域への事業展開を行うことが考えられます。ビジネスの価値を高めるためにも、横須賀水道半原水源跡地に近接する「繊維会館」をリノベーションし、活用する考えについて伺います。

繊維会館リノベーション

町長 「観光・産業連携拠点づくり事業基本計画」の中で、多くの議員から体験交流館についてのご意見ご提言をいただいています。現在、基本計画の見直しを行っていますので、あらためて施設の絞り込みや整備費用などの精査を行い、繊維産業会との合意形成を図ったうえで、リノベーションでの活用を含めた、町の方針を見出し、いきたいと考えています。



繊維会館の効果的な活用を

風水害地震対策 現在の取組状況



木下 眞樹子 議員

問

風水害や地震などへの防災対策は、常にそのときの被害想定等に応じた対策が求められます。そこで、現在の町の取り組み状況について伺います。

各種の対策を充実 地域の防災力向上

町長 防災行政無線のデジタル化をはじめ、備蓄品の整備充実などを図っています。

また、本年度は避難所ごとの防災訓練の実施など、地域における防災力の向上にも努めています。

高齢者へ更なる外出支援

問

最近、高齢ドライバーによる悲惨な交通事故が多発しています。運転免許を自主返納する方も少しずつ増加している一方で、車がないと日常生活に支障があることから、返納をためらってしまう方がいるのが実態です。そこで、高齢者に対し、更なる外出支援を行う考えについて伺います。

アンケートを実施 実態に見合う検討

町長 高齢ドライバーやご家族等の不安を払拭するためにも、運転免許自主返納支援事業は有効な手段と考えています。第8期高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画を年度末に策定するにあたり、本年度、高齢者アンケート調査を実施し、本町の実態に見合った高齢者の外出支援策について引き続き検討していきたいと考えています。



避難所での防災訓練のようす

＜その他の質問事項＞
商店街の活性化について

準農家制度開始 貸し借りの現状



小林 敬子 議員

問

本年7月から準農家制度が始まり、10アール以下の面積でも農地の貸し借りができるようになりました。そこで、本町における現在の状況について伺います。

農地の遊休化解決 合計で7名を認定

町長 本制度は、農地の遊休化が進んでいる中、その解決策の一つとしてあいかわ準農家制度が創設されたものです。

現状は、7月に2名、8月に5名の合計7名の方を認定しています。

教育相談センターの設置



農地遊休化の解決へ向けて

問

教職員の長時間労働に対する解決策として、教育相談センターを設置する考えについて伺います。

体制の充実努める 設置の考えはなし

教育長 本町では、各学校に配置、派遣しているスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった各専門職による相談回数を増やすなど、児童・生徒や保護者、

地域の方が気軽に相談できるよう、教育相談体制の充実に努めています。このことから、教育相談センターの設置については、現在のところ考えていませんが、今後もそれぞれの相談事業の連携強化を図るとともに、さまざまな角度から本町に合った教育相談体制について、よりよい方向を模索していきたいと考えています。

重要プロジェクト 早く最終案纏める
町長 本事業は重要なプロジェクトであり、各種団体と議論を交わし、議会にも報告しています。今後は協議結果を踏まえ、できるだけ早い時期に最終案をまとめていきたいと考えています。

問 半原水源跡地の観光・産業連携拠点づくり事業について、概算予算は31億円で、うち18億円が地方債となっています。返済が不透明ですが、どのように進めるのか町長の考えを伺います。

「観光・産業連携拠点づくり事業」
半原水源跡地計画進めるのか



山中 正樹 議員



墓地行政のあり方とは

多くはみなし墓地 実情に即して検討
町長 散骨や樹木葬といった従来の墓石型とは異なる墓地への対応をはじめ、無縁墓地の適正管理

問 合祀墓や納骨堂を選択するケースが増えています。また、お墓の守り手がいなくなるのが社会問題となっています。そこで、墓地行政について基本的な考えを伺います。

墓地行政の基本的な考え

など新たな課題が全国的に生じてきている状況となっています。この他現行法が施行された昭和23年以前に既に設置をされていた墓地については、みなし墓地として扱われています。

諸問題や現状に対しては、まずは墓地管理者の自助力や問題意識が欠かせません。今後も、実情に即した墓地行政のあり方について、検討していく必要があると認識しています。

関係各課連携図る 作成の支援努める
町長 洪水や土砂崩れ等による逃げ遅れゼロや被害を最小化するためにも関係各課で連携を図り、要配慮者施設に対し、防災体制や避難誘導、施設設備や訓練の実施などに関する避難確保計画の作成を指導するなど、支援に努めていきます。

問 浸水想定区域や土砂災害警戒区域内の要配慮者のための施設における避難確保計画の作成や、今後の取り組みについて伺います。

避難確保計画 今後の取組み



岸上 敦子 議員

費用対効果面考慮 新築改修時に検討
町長 公共施設における雨水貯留施設については、洪水防止のため雨水を一時的に貯留する目的で、公園の地下に設置するものや、公共施設内のトイレの洗浄水に利用するために設置する貯留施設のほかに花壇への散水等に

問 本町の公共施設における雨水貯留施設の設置の考えについて伺います。

公共施設の雨水貯留施設

利用する目的で既存施設に比較的簡易に設置ができる小規模な雨水貯留槽タンクが考えられます。

本町では、こうした貯留施設を設置した公共施設はありませんが、今後、公共施設の新築や大規模改修を行う際には、雨水の利用の推進に関する法律の趣旨や国の基本方針に照らしつつ、施設の利用や規模のほか、地域特性、費用対効果面も考慮しながら、検討していきます。



雨水貯留施設の例

詐欺防止電話 補助の状況



小倉 英嗣 議員

問

振り込め詐欺など特殊詐欺対策として、自動通話録音装置が有効です。本町でも新年度において補助を拡大しましたが、補助の状況について伺います。

申請者が増加

補正で60万円

町長 7月12日時点で32件、約30万円を助成しており、その後も、17件の申請をいただいています。既に予算額を上回っていることから、補正予算として60万円増額したところです。

有害鳥獣被害の状況

問

有害鳥獣対策については、町としてもさまざまな対策を講じていますが、最近では猿やイノシシによる被害が拡大しており、将来耕作放棄につながる心配があります。そこで、本町の被害状況について伺います。

イノシシ・サル等

被害額は約33万円

町長 イノシシなどの大型獣による被害は、主に



振り込め詐欺対策に有効！自動通話録音装置

半原、三増地域に集中しており、アライグマ、ハクビシンなどの小型獣による被害は、町内全域にわたっている状況です。本年4月から7月までの有害鳥獣による全体の被害面積は1,700平方メートルで、被害額は約33万円となっています。〈その他の質問事項〉マイクロプラスチックによる海洋汚染について

「災害時の液体ミルク」 国内で販売可能 導入検討の考え



佐藤 りえ 議員

問

熊本地震等で、海外製の液体ミルクが活用され、災害時の物資としての需要が高まり、昨年8月、国内でも製造や販売が可能となりました。そこで、導入の検討について伺います。

町内の店舗と協議
食料等の協定締結

町長 町内にあるドラッグストアと協議を重ね、昨年11月に「災害時における食料等の物資調達に関する協定」を締結し、液体ミルクを、災害非常時の調達品の一つとしました。

食品ロス削減の取り組み

問

本年5月に「食品ロス削減推進法」が成立しました。これまでの取り組みと今後の展望について伺います。

啓発記事等を掲載
今後は計画を策定

町長 会食や宴会などでの「3010運動」や啓発ポスターの掲示、また、フードドライブの実施や啓発記事の掲載、さらに、各自治会へのチラシの回覧、各種のイベントの際に周知をするなど、食品



町でも食品ロス削減を啓発

ロス削減に向けた取り組みに鋭意努めてきたところです。

今後は、食品ロス調査マニュアルに基づき、ごみ質分析調査結果をもとにして策定される国の基本方針や、県の食品ロス削減推進計画との整合性を図りながら、本町の計画策定に努めていきたいと考えています。

〈その他の質問事項〉

がん患者への支援について

状況十二分に承知 前向きに検討する
町長 半原小学校校庭の状況は十二分に承知しています。調査を進めて、費用面も含め効果的かつ抜本的な対策がとれるのかどうか、しっかりと前向きに検討していきたいと考えています。



大雨が降った後の半原小学校の校庭

問 半原小学校の校庭は、大雨が降ると水みちができ、良質な野外教育ができない状況です。抜本的な整備改修が必要と思いますが、整備について町長の考えを伺います。

町長 現在使用している全ての普通教室をはじめ、図書室や多目的室、図書室等の特別教室、さらには職員室や保健室など、小学校6校では155室、中学校3校では82室、合計で237の部屋

設置の必要性認識 全体の予算で検討

町長 現在使用している全ての普通教室をはじめ、図書室や多目的室、図書室等の特別教室、さらには職員室や保健室など、小学校6校では155室、中学校3校では82室、合計で237の部屋

①公共施設等総合管理計画個別計画について
②高齢者等交通弱者に対する外出支援について

半原小の校庭を抜本的整備改修



井上 博明 議員

特別教室のエアコン設置

問 学校校舎の理科室などの特別教室へのエアコンの設置について、町長の考えを伺います。

にエアコンを設置しています。未設置となっている理科室等へのエアコンの設置については、先生や子どもたちからも声を聞いており、現状を確認してきた中でその必要性は認識しています。全体の予算の見合いの中で考えていきます。

その他の質問事項

八菅・中津地区 一体的魅力向上



鈴木 信一 議員

問

八菅山地区、中津地区を一つの地域資源として捉え、魅力を向上させるまちづくりに対する町長の考えについて伺います。

滞在型観光で周遊 地元愛を醸成する

町長 町内全域を観光客が周遊できる滞在型観光や、地場産品を活用した新商品の開発、地域の「稼ぐ力」を引き出すとともに、地域住民の地元愛を醸成していくといった相乗効果を生み出したいと考えています。

中学校給食親子方式の進捗

問 親子方式による中学校給食について、来年度の開始に向けた法的課題解消の進捗状況を伺います。

都市計画法の規定に基づく用途変更許可申請が、県の開発審査会で了承されたことから、8月8日付で許可に至りました。

高峰小は用途変更 課題解決に取組む

町長 調理した給食を自校以外の学校へ配送することになった場合、建築基準法上は、工場扱いになることが大きな課題となっています。

高峰小学校については



温かい中学校給食の提供へ



高層階建物火災 近隣の協力体制

熊坂 崇徳 議員

問

内陸工業団地は、物流企業の進出に伴い建築物が高層化し、火災等への消防力が求められます。

そこで、高層階建物火災時の近隣市との協力体制について伺います。

はしご車出動要請

相互連携の強化

町長 隣接する消防本部にはしご車の出動を要請することで、30分未満で活動を開始できることから、隣接市に応援要請を行い、相互連携しながら、被害を最小限に抑えていきたいと考えています。



近隣市との相互連携で対応

安全運転支援装置の助成

問

本町は山坂が多く、免許を返納してしまうと買い物や通院などができなくなってしまうと思います。

本町では、今後の自動車メーカーによる安全運転支援装置の開発状況を注視するとともに、9月には横須賀市がこの取り組みをしていく報道がなされたことから、こうした先進自治体の事業効果なども勘案しながら、研究していきたいと考えています。

運転操作ミス多発

先進自治体を研究

町長 近年、高齢ドライバーのアクセルとブレーキペダルの踏み間違いや運転操作のミスなどによ

個人総括質疑

9月5日の本会議では、補正予算議案を対象に、

鈴木議員、熊坂崇徳議員、

阿部議員、岸上議員の4名が個人総括質疑を行いました。項目の一部について紹介します。

特殊詐欺等対策事業費増額

・自動録音装置見込み台数の根拠について

学校施設整備事業費増額

・屋上防水シート工事の詳細について

・今回の全面改修に至る経緯について

庁舎等維持管理経費増額

・防犯カメラの設置箇所について

・見込まれる効果について

ほか



屋上防水シートを改修（愛川中学校）

ご覧
ください！
議員ツイッター

町議会では、公式ツイッターを運用しています。

本会議や各種委員会のようすなど、様々なお知らせをツイートしています。是非フォロー登録をお願いいたします。

スマートフォンからご覧になれますので、左のQRコードをご利用ください。



QRコード

会派代表総括質疑

5日目の9月9日は、条例及び平成30年度決算議案に対し、会派代表総括質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

愛政クラブ

(小倉 英嗣 議員)

問 庁舎等維持管理経費で、PPSとの契約数と東電と比較した場合の電力料金の削減額について

町長 PPS（電力自由化以降の小売電気事業者との契約）契約している全26の施設における電気料金は、1年間で約1億2千万円となり、東京電力の料金単価に置きかえた場合の金額と比較すると、削減額は約3,900万円となっています。

このうち総務費の庁舎等維持管理経費にあたる役場庁舎等の電気料金の削減額は、約454万円となっています。

問 介護保険料の収入未済額と不納欠損額に対する評価について

町長 平成30年度の収入未済額約1,700万円については、前年度と比較すると、約286万円の減となっており、平成

28年度以降は毎年縮減することができています。

また、不納欠損額約736万円については、前年度と比較すると、約32万円の減となっています。

評価としては、夜間電話催告や休日戸別訪問などの滞納整理を強化することにより、収入未済額

や不納欠損額ともに、縮減することができたものと認識しています。

安定的な介護保険財政を維持運営していくためにも、引き続き収入未済額や、不納欠損額の縮減と収納率アップに向け、鋭意取り組んでいきたいと考えています。



LED化により電気料金の削減が図られた役場庁舎

公明党

(佐藤 りえ 議員)

問 広域的幹線地域路線バス運行対策事業費、生活利便性向上に向けた路線バス事業費の成果について

町長 本事業は、半原バスセンターから相模原市の三ヶ木に至る「三ヶ木51系統」のバス路線について、神奈川中央交通に

対し、相模原市と本町が運行費用の一部を協調補助することにより、バス路線の維持、確保を図ってきているものです。

成果としては、本路線は、旧津久井町方面への唯一の公共交通路線であることや、橋本へのバス乗り継ぎが可能な路線であることなどから、相模原市も含めた沿線地域にとっても、重要な路線として確保ができています。

今後移動ニーズの把握や、公共交通の利用促進に努め、引き続き相模原市と連携を図りながら、

路線の維持確保と利便性の向上に努めていきたいと考えています。

問 国民健康保険特別会計制度改正による決算への影響について

町長 本制度改正は、国保の財政運営を県が担うことにより、県内市町村の医療費の平準化を図ったものです。本町では、この改正により、平成30年度は法定外の一般会計繰入金が前年度と比較して約8,300万円減となりました。

また、医療費平準化の取り組みについては、これまで国保連合会が事業主体となり県内の市町村が拠出金を出し合うことで、医療費負担の調整を図ってきましたが、国保制度が都道府県単位の広域化となったことにより、こうした取り組みがさらに進んだところです。

日本共産党愛川町議員団 (小林 敬子 議員)

問 民生費の不用額の主な要因について

町長 平成30年度は、介護保険特別会計において、介護サービス給付費が当初の見込みを下回ったことから、不用額が約3,100万円となり、また、障害者介護給付・訓練等給付費においても、見込みより給付費が伸びなかったことから、2,400万円の不用額が生じたものです。

民生費における介護給付費や医療費にかかわる扶助費などは性質上、予算が不足しないよう、余裕を持って確保しておく必要があるため、民生費全体の不用額は約1億120万円となったものです。

問 地域生活支援事業の成果と課題について

町長 各種福祉サービスにかかる費用助成や、きめ細やかな相談支援により、障害のある方々の在

新風あいかわ

(阿部 隆之 議員)

問 前年度と比較し、教育費が減となった主な要因について

宅における自立した生活と社会参加の促進が図られたこと、また、障害に対する理解促進に向けた取り組みにより、町民意識の醸成が図られたことが本事業の成果であると認識しています。

課題としては、障害者やそのご家族が抱える生活上の課題が多様化していることから、地域の実情を把握しながら、よりきめ細やかな支援に努めていく必要があると認識しています。

一方で、坂本児童館建設事業の完了により、1億200万円が減額となり、私立幼稚園就園奨励費補助金が対象者の減少などにより、約1,800万円の減額となったこと

などから、教育費全体では、前年度と比べ、約1億1,200万円(8.1%)の減となったものです。

問 前年度と比較し、災害復旧費が増となった主な要因について

町長 平成30年度は大雪による除雪作業が生じた

ことから、これにかかわる委託料が約1,600万円の減となったものの、一昨年の台風21号の風雨により崩落した半原7341号線、馬坂の災害復旧工事を繰り返して実施したことにより、約2,600万円が増額となったものです。

また、昨年の台風24号により崩落した半原8608号線災害復旧工事、菅原小学校グラウンド防球ネットの復旧等により、前年度比約1,900万円(61.7%)の増となったものです。

みらい絆

(木下 眞樹子 議員)

問 水道事業の純利益が前年度と比べ減少している主な要因について

町長 減価償却費や資産減耗費が増加したために、支出総額が前年度より増加したことが主な要因となっています。

減価償却費については、資産の新たな取得により、前年度と比べて763万9,000円の増となっています。

資産減耗費は、平成30年度は細野配水地の給配水地解体工事を行ったことから、前年度と比べて約1,178万円の増額となっています。

一方で、収益的収入は、前年度と比べて約942万円の増となっていますが、支出額の増額が上回ったことから、純利益が減少となったものです。

問 水道事業の有収率がこの数年減少している主な要因について

町長 漏水箇所の特定が困難な給配水管などからの漏水が増えていることが推測されることに加え、給水メーターから先の漏水による水道料金の減額措置の件数が増加をしていることも、有収率低下の要因となっています。こうした中、平成30年度は有収率の改善を図るため、漏水調査や配水管の布設替えを行うとともに、配水管に接続する給水管の更新を行ったほか、使用者に対しては、漏水の発見方法が記載された検針票を発行するなどの漏水の防止に努めたところ です。



菅原小学校グラウンド防球ネットを調査



おいしい水を提供するために

常任委員会での審査

平成30年度事業の決算審議をより詳細に行うため、各常任委員会で8月に現地調査及び事務事業評価を、9月11日から17日まで各事業に対する質疑を行いました。内容の一部を紹介します。

総務建設常任委員会

8月14日に、本庁舎エレベーター改修工事、八菅山いこいの森案内看板・標柱修繕など、7箇所を現地調査しました。



職員研修経費

問 昨年度より派遣研修費が増額した理由について

答 各種講座への派遣を行った結果、全体で42人分の増加となったことにより、派遣研修経費が昨年度に比べて16万8,730円の増額となったものです。

再 職員数が減少傾向にある中で、派遣人数が増加している要因について

答 昨年度は各職位に対して行う基本研修や昇格前に行う必修基本研修、また、職員自らの意識で受講する選択型研修が増加したことが要因です。

まとめ 職員研修計画の中にマネジメントする側の研修も盛り込んでいただくようお願いします。

有害鳥獣対策事業費

問 小型動物処分委託料が昨年より増額している理由について

答 平成30年度の小型動物の処分頭数が前年度と比べ41頭増加したことから、約77万円の増額となったものです。

再 農作物被害を防ぐためにどのような対策が必要なのか

答 餌となる農地の収穫残さ・放棄果樹をなくす『集落環境整備』の実施、鳥獣の侵入を防ぐ防護柵の設置や追払いを行う『被害防護対策』、銃器やわなを使用して捕獲する『鳥獣の捕獲』の3つの対策により、地域が一体となって取り組むことが効果的であり、対策の推進が必要であると考えています。

まとめ 住んでいる住民の方々の協力が重要です。周知徹底を図るとともに、さらなる対策を講じていただくようお願いいたします。

教育民生常任委員会

8月7日に、高峰小学校体育館トイレ改修（洋式化）工事、田代運動公園東屋屋根修繕工事など、11箇所を現地調査しました。

新婚生活支援事業費

問 事業の評価について

答 アンケート調査で、新生活に伴う経済的不安の軽減に役立ったかとの問いには、8割が「とても役立つ」と回答しており、経済的に支援することが出来たものと認識しています。

再 周知の方法について

答 町ホームページや町外者向け移住定住ガイドブックへの掲載、関係機関へチラシを配架し、周知を図っています。

まとめ 今後も制度の周知を図り、事業の推移を注視していただくようお願いいたします。

放課後学習あすなろ教室事業

問 事業の評価について

答 各学校に聞き取り調査を行ったところ、子どもたちの成長した姿を示す成果が多数寄せられていることから、本事業の目的である学力向上と、学習習慣の定着を図ることに資する取り組みであると評価しています。

再 国語・算数以外の放課後学習の考えについて

答 スマートフォンやタブレット等を使用した、オンライン学習ソフトの活用を呼びかけていきたいと考えています。

まとめ これからも温かい指導で本事業を進めていただくようお願いいたします。



討

論

本会議最終日の20日に、各会派が町長提出議案に対する討論を行いました。一部を紹介します。

※議会における「討論」とは議案に対する「賛成・反対」の旨とその理由を述べて、他の議員を自己の意思に賛同させることを目的とする発言のことです。

賛成
愛政クラブ
小倉 英嗣 議員

全議案に賛成です。

地球温暖化防止対策については、公共施設への太陽光発電設備の設置をはじめ、住宅用太陽光発電設備に対する助成、公用車のEV化、急速充電器の設置や防犯灯のLED化などの事業を実施していただき、高く評価します。

路線バスについては、林経由の半原発本厚木バスセンター行きが実現したことを高く評価します。運転免許証を自主返納される方が年々増えていることから、昼間の時間帯の増便についても神奈川中央交通に要請をお願いします。

観光事業について、私は、相馬前町長の時代から温泉、道の駅について要望してきました。全国的にも有名な本町の観光資源の中津溪谷石小屋を失ったことは、本町にと



上空から見た横須賀水道半原水源跡地

って大きな損失でした。現在、小野澤町長のもとで進めている半原水源跡地を活用した観光産業連携拠点づくりについては、高く評価します。経済効果の高い施設になることを期待しています。

町税や国保税等の決算では、滞納繰り越しや不納欠損が平成19年度をピークに減少に転じています。現年課税分の徴収に重点を置いた取り組みが結果につながっているものと評価します。

しかし、さまざまな理由で不納欠損処理をしているところですが、住民のほとんどの方は生活が苦しい中でも納税義務を果たしています。不納欠損の削減に向けて、一層の努力をお願いします。

賛成
公明党
岸上 敦子 議員

全議案に賛成です。

平成30年度は、本町において「第5次総合計画後期基本計画」の2年目の年であるとともに、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の4年目にあたりました。健全財政の堅持という財政運営の基本理念に立ち、経費の節減を図りながら、国県補助金をはじめ、基金からの繰り入れなど、財源の積極的な確保を図り、後期基本計画に掲げた諸事業を効率よく執行された決算内容でした。

歳入については、町税を中心とする自主財源は、歳入全体の72.3%であり、前年度に引き続き70%台を維持しており、行財政運営の安定性が保たれているものと認めます。

また、歳出では当初予算に町長から示された「地方創生と健康福祉、人づくりのための予算」

の事業が行われているものであり、計画された諸施策が着実に執行されていることを認めます。

今後、本町は多くの公共施設が老朽化し、その維持管理経費の大幅な増加が予測されます。公共施設の老朽化、人口減少等による利用需要の変化に対応するため、「公共施設等総合管理計画」に基づき、将来を見据えた積極的な町の行財政運営の取り組みをお願いします。



公共施設の老朽化が大きな課題となってきます

賛成
日本共産党愛川町議員団
井上 博明 議員

賛成の立場です。

平成30年度は、小野澤町政2期目を見据えた節目の年であり、ふるさと愛川を次世代へ引き継ぐため、新たな着眼と柔軟な発想を持ちながら、地方創生と健康福祉、人づくりのための予算を編成し、平成30年3月議会において全会派一致で可決成立したものです。

決算は、全会計とも黒字となり、特に一般会計においては、リーマンショックの影響が著しかった平成21年度以降の10年間で町税収入額が最高となり、収入総額についても9年ぶりに130億円を超える規模となりました。

その一方、地方債の活用は、後年度の財政運営に配慮し、元金償還額以内の借り入れを実践したうえで、町民の安心安全な暮らしを守るために防

災行政無線のデジタル化整備工事の着手、また、ポンプ車、消防団車両の購入、さらに熊坂児童館の耐震補強工事に加え、町民生活に欠かせない生活基盤でもある庁内全域の道路舗装打ち換え工事、橋梁の維持補修事業など、財源として計画的かつ適切な活用がなされたものと評価します。

全議案に賛成です。自主財源については、72・3%となっており、一層進行する少子高齢化社会の中で、消費的経費のうち扶助費が24億1,618万8,000円で、前年度比2%の増加となっています。さらなる財政

賛成
新風あいかわ
熊坂 弘久 議員

基盤の確立と、多様化する住民ニーズに対応されることを強く要望します。財政力指数については、単年度で1.012となり、県内の不交付団体5市4町の一つとなっており、貴重な実績です。歳出については、人件費は前年比1.6%減の約4,984万円の圧縮となつていますが、業務量との関係で職員の健康等に弊害が生じないように十分配慮いただくことを要望します。

また、シティセールスプロモーションでは、地域経済の活性化や、愛川町の知名度アップ、イメージアップを図るため、愛川レッドカーペットの開催やシティセールスパフレットの作成配布、インターネットやSNSを活用した大々的なマーケティング推進事業、新宿アルタをはじめ都心部へのPRは今後も継続して実施していただきたいと思っています。

歳出ですが、款別歳出決算額での民生費が全体の約35%を占めており、少子高齢化社会の中で民生費は今後も増加していくと思われまふ。高齢者の健康維持に努め、高齢者の方々が住みやすいまちづくりをお願いします。新課税標識導入事業では、125cc以下のバイクで「あいちゃん」をプリントしたご当地ナンバーが導入され、多くの町民の方に交付されました。引き続き、広報と多



登録はこちら



QRコード

さまざまなシティセールスプロモーションを実施

賛成
みらい絆
熊坂 崇徳 議員

くの町民の方に使用していただけるようにお願いします。

ごみ減量化・再資源化推進事業費では、ごみの減量化と資源化、分別の推進と啓発活動を引き続きお願いします。

本町の人口は減少しており、大変厳しい状態となつています。人口が減れば税収が減り、賑わいもなくなつてしまい、衰退してしまひます。日本全体で少子高齢化が進む中ではありますが、子育て支援や若者が住めるまちづくりと福祉の充実を要望します。



本町のご当地ナンバー

議会改革推進特別委員会調査報告書（抜粋）

協議事項	報告内容
議会のＩＣＴ化（タブレット端末導入の検討）について	導入した場合には、資料の印刷コストの削減や事務の効率化などその導入効果は高くなることが見込まれるが、その反面、新たに多大なコストを負担することにもなるため、専門的な調査研究を行う新たなプロジェクトチームを設置するなど、今後もさらに十分な調査を行っていく必要があると判断したことから、改選後に引き続き導入に向けた調査を行っていくこととした。
図書室の充実について	図書及び資料を常に良好な状態で保管しておくため、不要な図書などを整理するとともに、会議録や議会資料など議員の調査研究に必要な書籍等を整備することにより、議会の政策形成機能の充実強化に活用していくこととした。また、資料の保存年数については、５年間を基本とするが、廃棄する場合にはその都度協議することとした。
議会による事業評価の実施について	本年８月の所管事務調査から実施することとし、実施方法等については、同日の調査終了後に、調査した箇所の事業評価を行うことで決定した。なお、今後においても、事業評価を行う中で、より良い評価方法等について見直しを行いながら、本町に適した事業評価が実施できるよう調査・研究を進めていくこととした。
行政視察報告会の実施について	各会派で行政視察報告を行う場合には、全員協議会の中で行うこととし、報告する時間は１会派あたり３０分を目途に、上限を４５分とすることで決定した。また、各会派統一の書式については、議員の改選後の行政視察報告から使用することとした。

町議会では、開かれた議会を実現するため、本特別委員会を設置し、議会のあり方や運営方法など、１７回にわたって、協議を進めてきました。

本委員会は７月３１日の会議で調査を終了し、８月３０日の本会議で調査内容を報告しましたので、内容の一部について紹介します。



設置から１７回の会議を重ねました

議会改革推進特別委員会

観光・産業連携拠点づくり
事業基本計画議会検討会観光・産業連携拠点づくり事業基本計画
見直し案に対する提言書（抜粋）

○観光・産業連携拠点づくり事業については、これまで住民に対する説明会が少なく、まだまだ認知度も低いと思われることから、さらなる住民への周知に努めること。

○半原水源跡地において、各種イベントの実施や産直販売、愛川ブランドの販売など「テストマーケティング」を実施することにより、来訪者等の意向調査や事業規模等の把握に努め、その結果を本計画に反映できるよう取り組みを行うこと。

○民間企業が新規事業実施の際に行う「リスクとリターンの設計」、及び「リスクヘッジ」を参考とした調査を行い、費用対効果や採算性等について十分に考慮した計画となるよう努めること。

○観光・産業連携組織の組成にあっては、若い世代や女性の意見も取り入れるため、幅広い世代の構成メンバーとなるよう選定すること。

観光・産業連携拠点づくり事業については、これまで半原水源跡地利活用の構想づくり事業費などの予算が可決されたことにより、同事業が進められてきました。

今回、町が示した「基本計画」見直し案に対し、議会検討会を再度設置し、９月５日に小野澤町長に提言書を提出しましたので、内容の一部を紹介します。



小野澤町長へ要望書を提出しました
（左から、佐藤茂副会長、小野澤町長、小倉会長、小島議長、井出副議長）



小野澤町長へ報告書を提出しました
(左から井出副議長、小島議長、小野澤町長、熊坂広報広聴常任委員会委員長、阿部同副委員長、吉川副町長)

本年5月に実施した第8回愛川町議会意見交換会におけるご意見・ご要望を精査したうえで、町へ申し入れを行うべき項目とした5項目を、令和元年8月2日に小野澤町長へ報告書を提出したところ、8月20日に回答がありました。

今回、町から回答があった事項の一部を報告します。



QRコード

左のQRコードで回答全文をご覧いただけます。
(スマートフォン等をご利用ください)

第8回愛川町議会意見交換会における意見、要望等に対する回答一覧表（抜粋）

No.	意見・要望	町からの回答
1	路線バス等で本厚木や海老名方面に向かうときに、山際や才戸橋の交差点は直進車が多いため、なかなか右折することが出来ないことから渋滞している。町の交通の利便性を高める観点からも、信号機の改善等について、関係機関へ働きかけること。	厚木市内の山際や才戸橋の交差点については、町民が路線バス等で本厚木や海老名方面に向かう際、利用頻度が高いルートとなっていることから、町としても、その渋滞緩和に向けた信号機の改善等については、厚木市等の関係機関に要請していきます。
2	「子ども議会」では、子ども目線にあった答弁を心がけ、子ども達の提案や要望については、実現するよう努力すること。	子ども議会における答弁については、子ども達が理解しやすい言葉使いや表現を用いたものとなるよう今後も努めます。また、子ども議員の提案や要望については、その内容を十分検討し、実施することが望ましいものについては、対応するよう努めていきます。

意見交換会におけるご意見・ご要望への対応

視察のため
来町されました

茨城県潮来市

視察日

令和元年6月27日

来町者

潮来市議会

広報編集委員会

大野 政則 委員長

ほか6名

視察内容

議会広報紙の編集方法等について

埼玉県草加市

視察日

令和元年8月16日

来町者

草加市議会

公明党草加市議会議員団

金井 俊治 議員

石川 祐一 議員

視察内容

はいかい高齢者等見守り支援ラベルシール交付事業について

第12回議会フイズ
の答えと当選者

前号の議会クイズも多くの方から応募をいただきました。正解と当選者は次のとおりです。

〔正解〕

問1・② 5人

問2・③ 16回

問3・③ 事務費

〈当選者〉

大矢 定司 様

榎本 明和 様

森崎 静江 様

次回定例会

次回、令和元年第4回12月定例会は左のとおりです。会議はいずれも午前9時から開会します。また、本定例会の運営を協議する議会運営委員会は、11月22日（金）に開催予定です。

新体制となって初めての定例会になります。ぜひ傍聴にお越しください。

令和元年 第4回12月定例会日程（予定）

月	日	曜	会議名
12	3	火	本会議（提出議案の説明）
	5	木	本会議（一般質問）
	6	金	本会議（一般質問）
	10	火	総務建設常任委員会
	11	水	教育民生常任委員会
	17	火	本会議（総括質疑・討論・採決）

第35回 愛川町ふるさとまつり

議場見学会に96名の方が来場!!

広報広聴常任委員会が中心となり、10月20日(日)に議場見学会を開催しました。
当日は96名の方が来場され、「多くの町民に議員の働きぶりが見えるようにしてほしい」といった議会への要望や期待など、多くの意見が寄せられました。
ご来場ありがとうございました。



第13回 議会クイズ

問1 印鑑条例が一部改正されましたが、その理由は何でしょうか？

- ①印鑑の登録が必要なくなったから
- ②住民票などに旧氏の併記が可能になったから
- ③何種類の印鑑でも登録が可能になったから

問2 今号には何か所QRコードが使用されていますか？

- ①1か所 ②5か所 ③10か所

問3 有害鳥獣対策事業費の小型動物処分委託料が前年度と比べ、およそどれくらい増額しているのでしょうか？

- ①33万円 ②55万円 ③77万円

《応募方法》 町内在住の方で、1人1通に限ります。答え・住所・氏名・年齢・電話番号、また、必ず議会だよりの感想等をご記入のうえ、下記あて先のいずれかの方法で応募してください。

《しめきり》 12月2日(月)(郵送の場合は当日消印有効)

《あて先》 ●はがきの場合 〒243-0392 角田251-1 議会事務局
●FAXの場合 046-286-5021
●電子メールの場合 gikai@town.aikawa.kanagawa.jp

☆正解と当選者は次号で発表します。

この議会だよりの中に答えがありますので、最初から最後までよく読んでみてください。正解者の中から抽選で3名の方に、商品券をお贈りします。



あいちゃん
©愛川町

編集後記

令和という元号になって初めての愛川町議会議員選挙により、新たな顔ぶれが加わり、新議会運営がスタートしました。
本町には人口減少・若年層の流出という大きな課題がありますが、各地域各年代によっても様々な問題が存在しています。
今後、議会や委員会の広報はもちろん、今まで以上に広く、そしてよりきめ細やかな広聴活動を実施し、一人でも多くの声を町政に反映させていくよう努めます。

広報広聴常任委員会

委員長 阿部 隆之
副委員長 小林 敬子
委員 岸上 敦子
委員 茅 孝之
委員 佐藤 りえ
委員 玉利 優
委員 熊坂 崇徳
委員 木下真樹子
委員 山中 正樹
委員 井上 博明